



発行者

諫早市立真城中学校

校長 山内 昇

学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造性に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 保健体育委員会スポーツ大会を行いました！



昨日の朝、グラウンドに巨大な四角形のラインを引く生徒の姿がありました。昼休みに実施する、保健体育委員会のスポーツ大会の準備でした。内容は、上の写真のように**黄色のひも（しっぽ）**をクラス対抗で取り合うというものでした。

昼休みになると、グラウンドから大きな歓声が聞こえてきました。しっぽを取ろうと走り回る人、逃げる人、気配を消して周りを見ている人など様々でしたが、約200人の生徒たちが、運動場で楽しそうにしていました。

ふと、**しっぽ**を取られた人はどうしているのかを見てみると、無心でグラウンドの草取りをしていました（下の写真）。なんと、この取った草の量も、クラス対抗になっていました。生徒中心で考えた大会でしたが、全員が最後まで取り組める工夫がなされていて、とても感心しました。結果は集計され、後日、表彰されるそうです。

このような形式の催しを、全校生徒で行うのは初めてでしたが、少し気軽に、誰でも楽しめる活動を企画してくれた保健体育委員の皆さんに感謝したいと思います。このような穏やかな時間を増やしていきたいと思います。



○ 福祉体験（3年生）

先週の24日（金）に3年生の総合的な学習の時間で、「福祉体験」を行いました。12月の人権週間を一つのゴールに設定し、2学期を通して学習に取り組んでいます。

24日は、市障害福祉課、社会福祉協議会、点訳友の会の方々にご協力いただき、「**高齢者疑似体験**」、「**点字体験**」、「**手話体験**」に取り組みました。様々な立場の人が暮らす社会で、「共生・ともに生きる」を、私たち一人一人が実践することが何より大事だと感じます。



私が若いときに、ベビーカーを押して自宅の近所を散歩した際、自分の足で歩いているときは何も感じなかった「段差」や「道路の幅」などが、ひどく気になっていることに気付きました。また、シニアカー（写真）を利用されている方に話を聞くと、「意外と通れるところは限られていて、どのルートが安全なのかを事前に確かめないといけない。」とのことでした。「その立場」にならないと気付かないことがたくさんあると感じます。



いつか、生徒たちが「街づくり」に携わるようになった時、今回の学習を思い出してくれたらと願っています。

諫早市障害福祉課、諫早市社会福祉協議会、点訳友の会ムツゴロの皆さま、本当にありがとうございました。

○ 11月の行事予定

11月の行事予定をお知らせします。朝夕は、肌寒さを感じるようになりました。日没も早くなっています。11月は、部活動終了が17時45分、完全下校が18時です。

1日（土） 市新人大会 剣道、バドミントン

2日（日） 市新人大会 バドミントン

3日（月） 文化の日（祝日）

4日（火）～ 教育相談（1・2年生）

5日（水）～ 三者面談（3年生）

13日（木）・14日（金）

2学期末テスト

テスト期間部活動中止

6日～13日



16日（日） 家庭の日・ノー部活動デー

真崎小学校 150 周年記念式典

真崎小ふれあい祭り（11：30～）

中学生の参加也大歓迎だそうです！

19日（水） 避難訓練

23日（日） 勤労感謝の日

24日（月） 振替休日

26日（水） ブラッシング指導（1年生）

27日（木） 生徒会役員選挙

16日の真崎小学校 150 周年記念式典では、市長祝辞も式順に入っていました。それほど、150 年は重みがあるということだと感じています。真城中・真城小の礎でもあり、この地区の土台を築いた歴史と伝統ある学校です。午後のお祭りには、たくさんの中学生にも来てほしいとのことでした。

